

「消防学校ニュース」

初任教育初任科第87期

平成29年8月31日発行

第2回野外訓練 特集号



初任科第87期 第2回野外訓練 実施要領

- 実施日時
平成29年8月9日(水) 9:00
～ 8月10日(木) 6:45
- 訓練内容・場所
第1部 応用訓練・小隊訓練・救助訓練
(消防学校訓練施設)
第2部 夜間強歩訓練
(富士マリンプール～消防学校:約30km)
- 日程表
9日(水)
6:30 起床
6:50 日朝点呼・早朝体育(資機材準備)
7:30 朝食
8:20 日直寮直交代
9:00 校長激励・訓練開始
16:50 訓練終了 夕食・入浴
19:15 消防学校出発(バス)
20:15 富士マリンプール到着
20:30 夜間強歩訓練開始
※ 帰校予定 10日(木) 6:45



強靱な体力・精神力の養成

団結力の重要性の再認識



第1部：学校での各種訓練

その1

本日快晴

… 訓練日和？

この夏一番の猛暑日
夜も30度を下らず
天気予報に大きな不安



澤野校長 激励

一人ひとりが消防職員として、第87期の一員として、自覚を持って訓練に臨んでほしい
自己と仲間の安全確保、報告の徹底を！



佐野担当教官

第2回野外訓練を実施するに当たって不安もあると思うが、これまで自分達がやってきたことを信じて、自信を持って臨んでもらいたい！



総代の静岡市消防局長島学生が大きな声で気合を入れる
まずは準備運動
消防体操 …
そして 走れ！走れ！



しようぼうがっこう

応用訓練



はしご応急救出訓練

火災時の要救助者を迅速に救助！



梯子の角度、隊員の連携が重要！



**小隊
訓練**

**乗車員全員で安全確認！
車両スタート！**



梯子の角度OK！上階へホース延長！



小隊編成による
火災想定訓練

建物火災を想定
現場着時に
要救助者情報あり
「進入検索」
「救助・救出」
「注水」



第1部：学校での各種訓練

その2



**進入前に
内部状況確認！
温度、煙 …**



ロープ展張・各種渡過訓練

- ① ロープへの復旧
- ② チロリアン渡り
- ③ セーラー渡り



③



**救助
訓練**

夜間強歩訓練 行程表

19:20 バス3台、救護車3台で
富士マリンプールに向け学校を出発



出発

20:30

富士マリンプール

3.02km

35分

校長の下見メモ①

この区間の両公園は、田子の浦港入り口を挟む格好で、直線距離では実は目と鼻の先の距離。そこを訓練隊は港一周コースで進んでいく。明るいときに見れば、その近さに驚いてしまう。夜間で学生たちには良かったかもしれない。この点だけは……

21:05

21:25

富士と港の見える公園

3.80km

45分

22:10

22:30

田子の浦みなと公園

2.95km

40分

2名リタイア

23:10

23:30

入道樋門公園

2.70km

35分



校長の下見メモ②

富士市の海岸通り、新富士川橋での川越え……と景色の良いコース。だが学生たちは自ら照らすライトを頼りに暗闇を進む。肉体的な疲労に加え、精神的にも重い負担が掛かるだろう。

0:05

0:20

富士川緑地公園

2.50km

35分

0:55

1:25

日の出公園

2.90km

40分

4名リタイア

2:05

2:25

新蒲原駅

3.70km

50分

1名リタイア

3:15

3:45

湾岸消防署庵原分署

2.50km

35分

1名リタイア

4:20

4:40

由比駅東公園

3.00km

50分

5:30

5:45

薩埵峠駐車場

3.00km

60分

到着

6:45

消防学校



校長の『由比日記』より

早起きして午前4時少し前に由比駅到着。到着予定の4時20分になっても誰も来ず。訓練隊はどうしたのか、不審者に間違えられないかの不安の中で、ただ一人ひたすら待つ。



4時半を過ぎた頃、やっと訓練隊の先頭の灯りが見えてきた。少し間を置いて二番隊以降が近づいてくる。



4時56分、訓練隊の最後尾が休憩地である公園まであと200mのところまでやってきた。随分と長い行列になった。



休憩地では学生たちの疲労の顔が並ぶ。追い討ちを掛けるように太陽が昇ってきた。5時10分、それでも最後の難関に向けて出発。



7時43分、予定より約1時間遅れで、途中リタイアの者を除く全員が学校に到着した。(校長 ひど安心)

第2部: 夜間強歩訓練

スタート地点の「富士マリプール」の駐車場さすがに人気(ひとけ)もなく闇に覆われている訓練隊が発する光と音は異様だ



疲労、暑さ、睡魔との闘いとなる
31kmの行程を強歩し、隊列を乱すことなく、明朝6時45分までに全員が学校へ到着すること
それがミッションだ



途中遅れる者も出ると
思うが、お互い叱咤激励しながら「全員完歩」を目指してほしい



訓練旗を先頭に夜間強歩はスタートした



個人装備、そして救出救護装備(AED、救急セット)を分散配備し、目的地(災害現場)に向け、ひたすら前進



夜になっても気温は下がらない(予報のとおり)
更に湿度も高い
熱中症等でリタイアする学生が続出することが大いに懸念される
学生達の表情、歩き方をよく観察しながら
それでも前へ進む … 前へ 前へ …



夏の夜に 蛍の光の列が続く



22:20



休憩地点では、足をケアする者、資料を見て行程を確認する者、仮眠をとる者 などなど
… とにかく先はまだ長い
暗闇の中をまた歩みを進める



午前1時40分
富士川を越えて



いよいよ清水区へ



午前2時半過ぎ
綺麗なお月様が見守っています



午前3時20分を過ぎた頃
訓練隊の先頭が湾岸消防署庵原分署へ到着



ここまでで全行程の約7割をクリア 残りはあと3割
暑さ、眠気、疲労、足の痛み… いろいろと闘いながら黙々と歩いてきました

休憩終了…
さあ、出発!



点呼が終わって
それぞれ休憩へ…
限られた時間の中で
学生たちは、といえば
このおりの状況です



ゴール目指して
再び歩き始めます



最後の難関 薩埵峠!!



行程前半は比較的順調に進んでこれたものの「新蒲原駅」以降はリタイアする学生が続出。学生達の疲労度は増していくばかり。残りの行程は“気持ち”で乗り切るしかない！
…最後の難関「薩埵峠」…
延々と続く上り坂 お互いの激励で力を振り絞る！

午前5時半 太陽が少しずつ昇ってきました…
訓練隊を明るく照らすとともに、気温の上昇をもたらします



午前6時、厳しい行程を経て、最後の休息場所「薩埵峠駐車場」へ到着（予定より30分の遅れ）
訓練隊の疲労の色は濃いけど、残りはあと1行程
いよいよゴール地点“坂の上の”消防学校へ帰るのみ



坂の上の学校



午前6時半を過ぎて
訓練隊の先頭が
校門前の坂を
登ってきました
校長、総務課職員、
途中リタイアで学校
待機の学生たち、
皆笑顔で迎えます



長丁場の厳しい訓練、みんなよく頑張った
だが、災害現場での人命救助は72時間が勝負
この訓練の比ではない、強靱な精神力と体力が
求められることを忘れるな！



主査 伊勢 伸康 (初任科第 87 期担当)

真夏日、熱帯夜と肉体的に厳し
いコンディションの中、これまで
積み上げてきた訓練の成果を試
す、絶好の場となった。
今回の結果を謙虚に受け止め、
初任教育の修了に向けて、更に精
進してほしい。



主査 園部 元康 (初任科第 87 期副担当)

リタイア者を含め、帰校した際の
気持ちは、皆一生忘れられないもの
になると思う。
完歩した者も、そうでない者も
とにかくお疲れ様。そうは言っても
本来強歩した後に本当の活動が待
っている。そのことを忘れずに、
日々考えて練成してもらいたい。



校長からの御褒美は **バナナ!**



初任科第 87 期 108 名

リタイア等もあつたけど…

元気 です!

われら精鋭部隊! ⑤

【教官紹介コーナー】

主査 佐野 将則 (富士宮市消防本部から派遣)



残念ながら、初任科生「全員完歩」は達成できなかった。
完歩できた者、できなかった者、様々な思いはあると思うが、
これがゴールではない。
ここ消防学校での初任科を修了し、それぞれの所属に帰ってからが
本当の勝負!
完歩した者は“おごることなく”
リタイアした者は“落ち込むことなく”
これからの消防人生を歩んでもらいたい。

初任科1組の担当教官としてクラスを取りまとめる一方、災害現場を
予防面から攻める「予防のスペシャリスト」として学生の教育指導に当
たる、派遣2年目の“シブ〜い“(あくまでも肯定的な表現)教官。
… 先導役の彼を追い抜こうとする元気な学生がいれば、負けじと意
地でも先頭を守り抜く“頑張り屋”【校長】(疲れ、大丈夫かな)

